

canopus

HD/SD対応ハイスピードモザイク編集システム
MRL-HDシリーズ



HD/SDのリアルタイムマスク合成と
リニア感覚のインサート編集を実現。



High Speed Mosaic Editing System

MRL HD

Series

マスク合成の常識を変えた
リアルタイム・ラーニングシステム

ハイビジョン映像の理想的なリアルタイムマスク合成を実現

MRL-HDシリーズは、ハイビジョンカメラやHDVカメラ、DVカメラで撮影した映像作品にリアルタイムでマスク合成を行うリアルタイム・ラーニングシステムです。

■ハイビジョン映像のリアルタイムマスク合成

MRL-HDシリーズは、フットペダルで映像を自由な速度(±1/20～±8倍速)で再生させ、ペンタブレットとジョイスティックフェーダーでマスク範囲の位置や大きさを調整しながら、ターゲットにリアルタイムでマスク合成を行う「ラーニングシステム」を搭載したマスク合成専用の編集システムです。

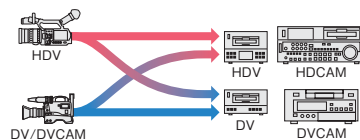
■リアルタイムモニタ出力

映像出力端子からはタイムライン上の映像がHD、SD共にリアルタイムで出力されているので、作業結果を常にモニタで確認しながら操作が行えます。映像の規格が混在している場合は、HD/SD解像度から選択することができます。



■HD/SDの混在編集

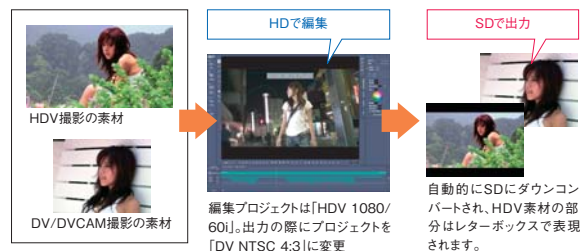
ハイビジョン素材とDVビデオ素材、異なるアスペクト比(16:9、4:3)の素材を混在させたマスク合成が可能。必要に応じてレターボックスを自動で作成します。



■HD↔SD互換編集

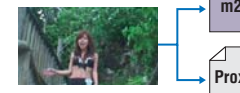
プロジェクトの編集モードを即座に切り替えてHD→SD、SD→HDのどちらでも再編集・変換出力することができます。マスク合成は後段階で行うので、余計なスケーリングが入らず、変換前と変わらない高品位を維持できます。HD→SD変換では、レターボックス出力時のマスク位置補正やマスクサイズ、ブロックサイズ(濃さ)は自動的に修正され、ダウンコンバート等の作業を必要としません。

■マスク合成をHDで行い、出力をSDにした場合



■HDVネイティブの軽快な編集

HDVをネイティブで扱っても、DVと変わらない軽快な操作性を実現した「ハイブリッドデコーディング」を搭載。容量もDVの1.15倍程度のため、比較的安価なストレージで運用でき、導入コストを大幅に削減できます。MRL-HDシリーズ以外でキャプチャしたMPEG2-TSファイルは、付属ソフトウェア「MRL ProxyMaker」でファイルを生成することで、同様の高速処理が可能になります。



キャプチャ時にHDVネイティブのファイルと低ビットレート映像のプロキシデータなどを生成

■ハイブリッドデコーディングの仕組み



サーチやスクラブなど、シーンを素早く動かす時には、プレビューウィンドウに表示される映像がHDネイティブの映像から、低ビットレートのプロキシデータに瞬時に切り替わるので、リアルタイム性を損なわずに軽快な操作性を維持したままマスク合成が可能です。

■マスク合成中、合成後のカット編集が容易

マスク加工中の映像編集や加工後の手直しも簡単に行うことができます。これにより、ビデオ制作の一連作業がMRL-HDのシステムだけで完結できるだけでなく、テープアウトやファイル出力を伴わずにワンパスレンダリングの高画質を維持できる映像制作環境の構築が可能です。

■独自の圧縮技術「Canopus HQ Codec」を採用

データ量を抑えながらも高画質を維持でき、フレーム単位の高精度な編集が可能なCanopus独自の圧縮技術「Canopus HQ Codec」によるキャプチャが可能。当社のハイビジョン編集システムとの効率的な運用ができます。

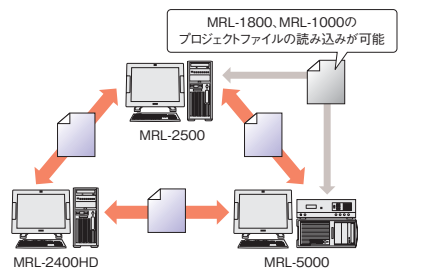
高いユーザビリティへのアプローチ

さまざまなワークフローに備え、豊富な入出力端子を搭載したMRL-HDシリーズは、プロジェクト互換による素材共有などの高効率なシステム構築や、市場の動向に合わせたフレキシブルな納品形態への対応が可能です。

プロジェクト互換と資産運用

MRL-HDシリーズで作成したプロジェクトファイルは、他のMRL-HDでの読み込み、再編集が可能です。また、MRL-1800、MRL-1000のプロジェクトファイルを読み込むことができる「MRL-SDソフトウェア」により、SDの映像作品の資産運用も継続できます。

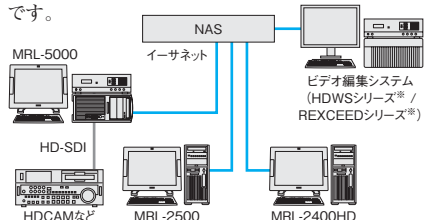
プロジェクトファイルの互換



※プロジェクトファイルと素材ごと移動する必要があります。
 ※MRL-SDソフトウェアは、MRL-HDソフトウェアとの互換編集機能はありません。SD出力のみとなります。
 ※フリーシェイプ、テクスチャマスク処理されたプロジェクトファイルは、MRL-2000で読み込むことはできません。

NASによる素材共有

プロジェクトファイルを共有できる利点から、ネットワークサーバ(NAS)を使うことで、素材の共有や制作の分業など、高効率の編集環境を構築することが可能です。

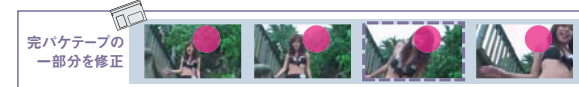


※EDIUSのプロジェクトファイルの読み込みはできません。

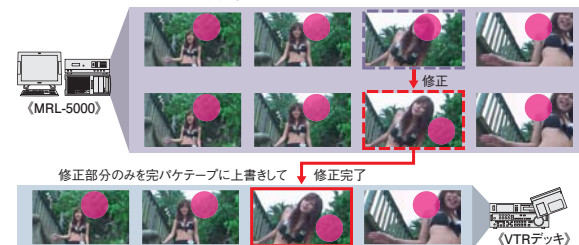
リアルタイム感覚のインサート編集に対応 (MRL-5000のみ)

テープアウト後にマスクの修正や追加が必要な場合、全編取り込み / 再出力の必要はありません。RS-422制御が可能なHDCAMデッキ、βCAMデッキ、DVCAMデッキ等を使用し、手直しが必要な箇所のみを書き出すことで、作業効率を大幅に向上させることができます。

※IEEE1394接続でのインサート編集には対応していません。



プロジェクトファイルと素材がある場合の修正



素材テープを使った修正



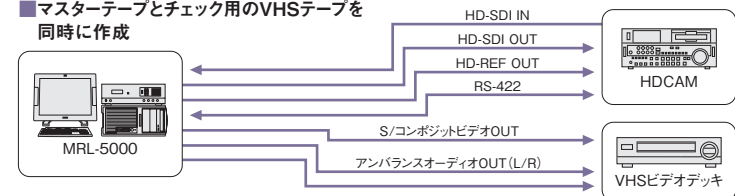
HD-SDI入出力に対応 (MRL-5000のみ)

HD-SDI入出力に対応し、HDCAMからのキャプチャや書き戻しが可能です。Blu-rayやHD-DVDの入稿テープの作成も容易です。

Multi I/O Processor (MIP) による豊富な入出力 (MRL-5000のみ)

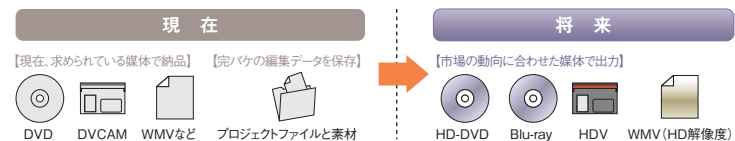
HD/SDのリアルタイム・ハードウェアアップコンバート/ダウンコンバートが可能な専用MIPが付属。豊富な入出力端子を搭載し、さまざまな機器からの入力、同時出力に対応。マスターテープとチェック用のVHSテープを同時に作成することができます。

マスターテープとチェック用のVHSテープを同時に作成

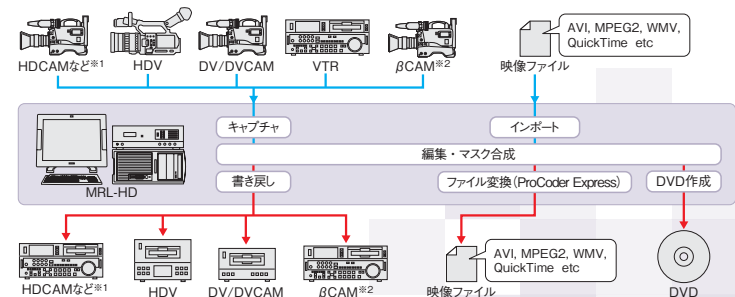


将来を見据えたコンテンツ利用

豊富な出力形式を利用することで、ひとつのコンテンツをさまざまなメディアで利用することが可能です。



ワークフロー



*1 MRL-5000のみ *2 MRL-2500/2000でキャプチャする場合は別途、コンバータが必要

高速・正確なマスク合成を実現したMRL-HD専用ソフトウェア

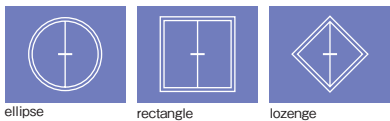
「マスクを映像に直接書き込む」というこれ以上ない直感的な操作を実現したMRL-HDシリーズ。感覚的な操作をダイレクトに映像に伝える専用ソフトウェアにより、ハイスピードで高品位な映像制作を可能にします。



形状や大きさ、境界線(ぼかしの範囲)を自由に調整

マスクの形は用意されたパターンからターゲットの形状に合わせて自由に選択でき、位置や大きさ、傾きなどはペンタブレットやジョイスティックフェーダーで自由に調整できます。マスクと映像の境界線をなじませることで、違和感のない自然な仕上がりになります。

■マスクパターン



ellipse

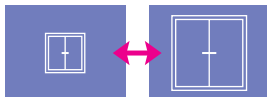
rectangle

lozenge

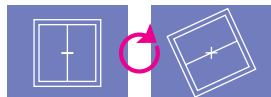
■境界線(ぼかし範囲)



■拡大・縮小



■回転



マスク合成の常識を変えた「ラーニング方式」と「キーフレーム方式」によるリアルタイムマスク合成

マスク合成にはノンリニア編集の利点を最大限に活かした2通りの編集方法を用意しています。

●フリーハンドで瞬時にマスクングを行う「ラーニング方式」

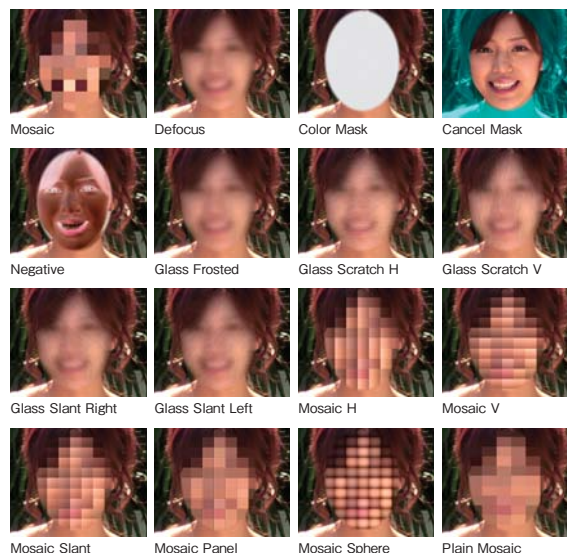
任意の速度で映像を再生させながら、ペンタブレットやジョイスティックフェーダーでマスク範囲を動かし、ターゲットを隠していくだけで自動的にマスクが生成されます。自分で動かしした軌跡を記憶していくので、ラーニング中にターゲットを外しても映像を戻して上書きが行えます。これにより頻繁に動くターゲットであっても、失敗を気にすることなく一気にマスク合成ができ、従来の方式に比べ圧倒的に短時間で作業を終えることができます。

●一定に動くターゲットを確実にマスクングする「キーフレーム方式」

映像を適度にポーズしながら、マスクの位置や大きさなどを設定します。設定したフレーム間の動きや、大きさの変化は自動で補間されるので、一定に動くターゲットから固定物まで幅広く使用できます。

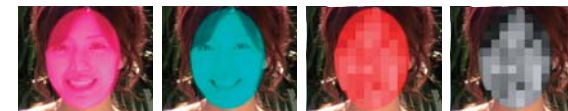
■豊富なマスクパターン

スタンダードなモザイクパターンやターゲットの特定に便利なカラーマスクなど16種類のマスクパターンを用意しています。



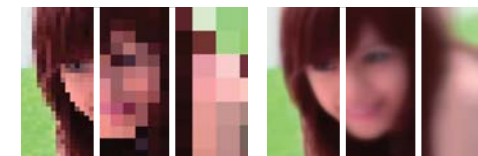
■単色マスク

カラーパレットから好きな色を選び、マスクパターンに単色の着色ができます。



■映像に合わせて可変するマスク

マスクのサイズ、濃度(ブロックサイズ)、ボーダー幅、アスペクト比、Hue等のマスクセッティングは、フレーム単位に設定でき、映像に合わせて各種設定を可変させることが可能です。濃度の可変が自由に行えるので、遠近感のあるマスク合成も表現できます。



ブロックサイズ

濃度

■ マスクセッティング

マスクパターンに対して、Hue、Bright、Saturation、Contrastの強弱を自由に設定できます。

■ フリーハンドでマスクを描く

(MRL-5000 / MRL-2500のみ)

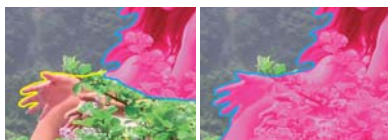
ペンタブレットでなぞった軌跡をマスク範囲とする「フリーシェイプ」。形状が複雑なターゲットでも1つのマスクで処理ができ、サイズや傾きなどの設定も行えます。描いたマスクに対して、描き足し/切り取りによる自動修正が可能で、これにより緻密な作品を完成させることができます。



自由に描いた軌跡がマスク範囲として設定される



はみ出した部分や余分な部分を切り取ることで修正も容易



すでにあるマスク範囲に描き足して修正することも可能

■ テクスチャーマスクによる演出

(MRL-5000 / MRL-2500のみ)

Adobe PhotoShop等で作成したアルファチャネル付きの静止画ファイルをマスクとして使用できます。サイズや回転なども自由に設定できます。

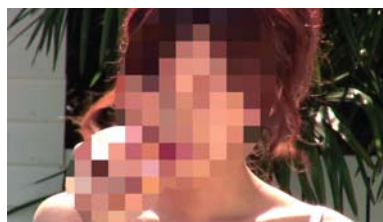


■ シャギーや色変化がない

アンチエイリアシング処理により、映像との境界線にシャギーや色変化が発生しないので、元映像との違和感を極力抑えられます。

■ モザイク同士が重ならない

マスクの移動は、スイッチャー処理のようにブロック自体が移動するものではなく、マスクの表示エリアが移動します。これにより、複数のモザイクを重ねて処理しても、モザイク同士は重ならずマスクのエリアのみがくっついたように表現され、モザイクがずれたり境界線のように見えてしまうこともありません。



■ キャンセルマスク搭載

マスクで隠したくないエリアを描くことで、その部分だけマスクがかからない処理ができます。レイヤー構造は有効なので、キャンセルマスクの上に別のマスクをかけることもできます。



ターゲットに複雑に重なり合う場合でも、確実にマスクングすることができます。



通常のマスク合成

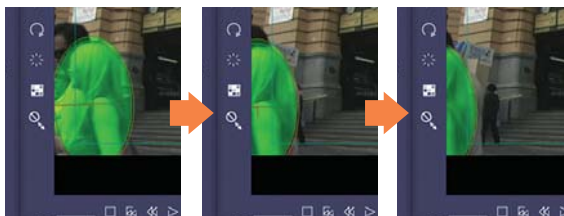


リングの部分にキャンセルマスク

■ フレームアウトに対応

フレームの四隅にあるターゲットやフレームアウトしていくターゲットに確実なマスクングが可能。ペンタブレットでの操作がしやすいようにワンボタンで画面サイズを3段階に変更できます。

選択範囲カーソルはプレビューウィンドウの外にも移動できます。画面の端、四隅に関係なく、フレームアウトしていくターゲットをしっかりとマスクングできます。



■ リニアと比べ修正が容易

修正が容易でないリニアのマスク合成と違い、MRL-HDでは修正が容易かつ短時間で済みます。マスク合成後もマスクパターンやサイズ、濃度などすべてのパラメーターを手直しが可能。1コマごとの修正はもちろん、選択した範囲を一度に修正することもできます。また、オフセットによる修正にも対応しているため、サイズや濃度が可変しているマスクに対し、均一でマスクを拡大するなどの操作ができます。

■ 映像の分割・挿入

映像の分割、挿入機能を備えているので、マスク合成中でも即座に不要部分のカットや別映像の追加が可能。マスクトラックも連携して自動変更されるので複雑な操作は必要ありません。納品形態に合わせて、白パケのプロジェクトを簡単に再編集できます。

■ 32本のマスクトラック

マスクトラックは最大32本。新しい番号のトラックを前面にしてレイヤーを構成しているので、複数のマスクが重なっても混ざることなく、違和感のない自然な映像処理が可能です。

■ オートセーブ機能

3秒間操作がないとオートセーブが働き、不測の事態で作業内容が失われないように備えます。セーブはすべてバックグラウンドで処理され、作業を妨げることもありません。

※作業内容の保護を保障するものではありません。

■ イベントリストによるマスクの検索

設定したマスクはリストに登録されているので、複雑に組み合わせられたプロジェクトでも簡単に目的のイベントを検索して修正を加えることができます。

■ プリセットにマスクパターンを登録

よく使用するマスクパターンをキーボードのF1～F10に割り当てることができます。

直感的な操作をサポートするコントロールデバイス

効率よく作品を仕上げるために、マウスやキーボード以外のコントロールデバイスを備えています。オペレーターの個性を上手く反映させ、スタイルに合わせた使い方を提案します。

■付属品

■LCD付き回転型タブレット

編集画面をペンタブレットで直接操作します。タブレット部分が左右に回転するので、無理のない姿勢でスムーズかつ、合理的な作業が行えます。

MRL-5000、MRL-2500に標準付属
MRL-2000はオプション（フリーシェイプは使用できません）



液晶パネルにWindows画面が表示されます。通常のディスプレイとしても使用できます。

前後、左右に傾きを調整できます。

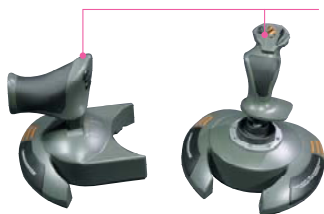
ペンでマスク範囲やタイムラインカーソルの移動、各種パラメータの設定などができます。



確実な操作性は作業効率の向上に寄与します。

■MRLジョイスティックコントローラ

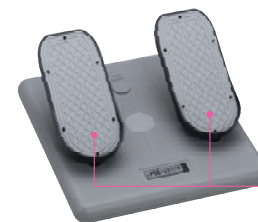
スライダーとスティックを操作して、マスクの設定から選択範囲のコントロールまで満遍なく行えます。



スライダーを前後に動かすことでマスク範囲、ボウダー範囲、マスクの種類や濃度を調整します。スティックでマスク範囲の移動や回転を行います。

■MRLフットペダル

左右のフットペダルにより、ジョグ&シャトル機能を実現。踏み込む角度により、±1/20倍速～±8倍速までの再生速度をリアルタイムで操作でき、小刻みに踏み込むことで、コマ送りの再再生も実現します。

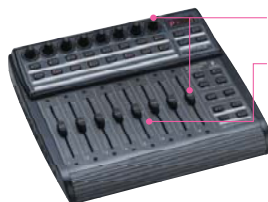


右ペダルを踏み込むと映像が再生されます。踏み込む角度により再生速度が変化します。左ペダルは逆再生になります。

■オプション

■MRLフェーダーコントローラ

マスク範囲の調整や、ブロックサイズの変更、コマ送りなどをフェーダーとロータリーでコントロールします。微細な調整から大まかな操作までフォローできるので、作業を的確に行うことができます。



微調整はフェーダーで行い、大まかな調整は稼働範囲の大きいロータリーを使います。

8つあるチャンネルに任意の作業を割り当てることができます。

■REV Pro

映像に最適なスペックと安全性を確保したプロフェッショナル向けのリムーバブルHDD。アクセスできるパスワードを個々の内容ごとに設定できるなど、高いセキュリティを誇り、データの流失を防ぎます。



●MRL-SDソフトウェア

MRL-1800、MRL-1000で作成したプロジェクトファイルの読み込みができます。 ※元素材も必要です。



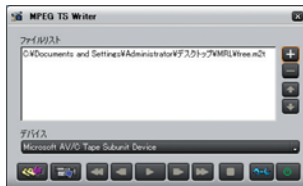
●MRL Capture

HDV/DVカメラ、ビデオレコーダーから映像をキャプチャします。タイムコードを指定したバッチキャプチャも可能。キャプチャ終了後、自動的に編集画面のタイムライン上に配置されます。



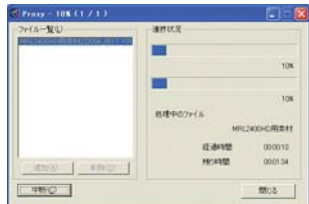
●MPEG TS Writer

MPEG2-TSファイルをHDVカメラやVTRデッキに書き戻します。



●MRL ProxyMaker

ハイブリッドコーディング用のプロキシデータなどを生成します。他のシステム等でキャプチャしたHDV素材でもストレスのない高速編集を可能にします。

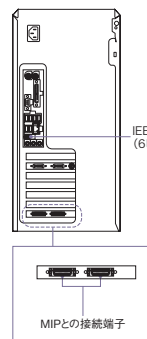


●ProCoder Express

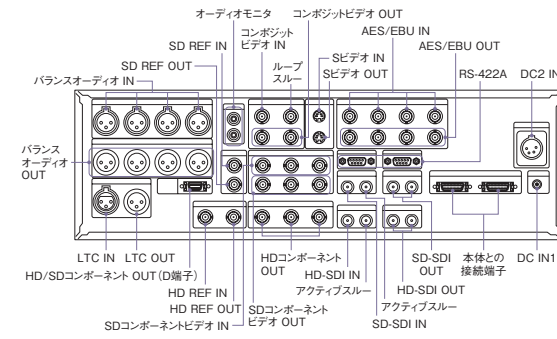
編集した映像をさまざまなファイル形式で出力できます。ウィザード画面に従って進行するだけで目的のファイルに変換できますが、ビットレートなどの詳細設定もできます。



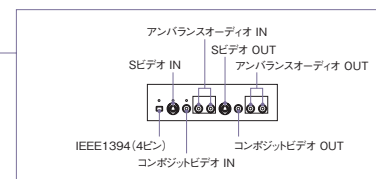
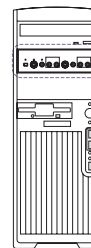
■MRL-5000背面図



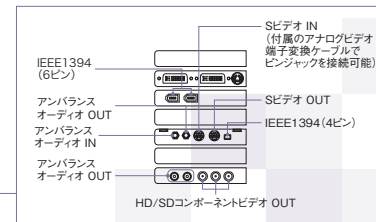
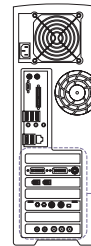
■MIP背面図



■MRL-2500/2000正面図



■MRL-2500/2000背面図



MRL^{HD} Series



■MRL-5000

型番 MRL-5000

価格 ¥5,000,000

JAN 4980884070275

■製品構成：●MRL-5000本体 ●MIP本体 ●LCD付き回転型タブレット ●MRLジョイスティックコントローラ ●MRLペダルコントローラ ●USBキーボード(日本語版109Aキーボード) ●USB光学式スクロールマウス ●マニュアル 他

■付属ソフト(プリインストール含む)：●MRL-HD ●MRL-SDソフトウェア ●MRL Proxy Maker ●MRL Capture ●MPEG-TS Writer ●ProCoder Express



■MRL-2500

型番 MRL-2500

価格 ¥2,590,000

JAN 4980884070268

■製品構成：●MRL-2500本体 ●LCD付き回転型タブレット ●MRLジョイスティックコントローラ ●MRLペダルコントローラ ●USBキーボード(日本語版109Aキーボード) ●USB光学式スクロールマウス ●マニュアル 他

■付属ソフト(プリインストール含む)：●MRL-HD ●MRL-SDソフトウェア ●MRL Proxy Maker ●MRL Capture ●MPEG-TS Writer ●ProCoder Express



■MRL-2000

型番 MRL-2000

価格 ¥1,890,000

JAN 4980884070565

■製品構成：●MRL-2000本体 ●MRLジョイスティックコントローラ ●MRLペダルコントローラ ●USBキーボード(日本語版109Aキーボード) ●USB光学式スクロールマウス ●マニュアル 他

■付属ソフト(プリインストール含む)：●MRL-HD ●MRL-SDソフトウェア ●MRL Proxy Maker ●MRL Capture ●MPEG-TS Writer ●ProCoder Express

※ディスプレイが別途必要です。
※マスク合成機能のフリーシェイプ、テクスチャマスクは含まれておりません。

■MRL-HDシリーズ ワークステーション部仕様

| | MRL-5000 | MRL-2500 | MRL-2000 |
|-----------------|--|--|--|
| OS | Microsoft Windows XP Professional 日本語版 (SP2) | | |
| CPU | Intelプロセッサ | | |
| メモリ | 2GB (DDR2 SDRAM/667MHz ECC Unbuffered 512MB×4) | | |
| ハードディスク(システム用) | 160GB (Serial ATA 7200rpm) | | |
| ハードディスク(コンテンツ用) | 500GB (250GB×2, Serial ATA 7200rpm) | | |
| フロッピーディスクドライブ | 3.5インチ1.44MBドライブ | | |
| マルチドライブ | DVD±R/RWドライブ | | |
| ディスプレイ | DVH (デジタル)×2 (DVI - D-SUB変換コネクタ2個付) | | |
| シリアル | RS-232C (D-SUB 9ピン)×1 | | |
| パラレル | セントロニクス準拠 D-SUB 25ピン×1 | | |
| USB | USB2.0 (前面×2 背面×5 内蔵×1) | | |
| IEEE1394 (OHCI) | 6ピン (前面×1 背面×1) | | 6ピン (前面×1 背面×2) |
| サウンド | ラインイン×1, ラインアウト×1, マイク (モノラル)×1 | | |
| ネットワーク | Broadcom BCM5751 NetXtreme Gigabit Ethernet 10/100/1000 | | |
| 消費電力 | 本体：800W タブレット：80W | 本体：460W タブレット：80W | 本体：460W |
| 動作周囲温度/湿度 | 5℃～35℃/8%～85% (結露なきこと) | | |
| 外形寸法 (突起物除く) | 本体：210.0 (W)×454.0 (H)×525.0 (D) mm タブレット：535.0 (W)×60.0 (H)×418.0 (D) mm | 本体：168.0 (W)×456.0 (H)×450.0 (D) mm タブレット：535.0 (W)×60.0 (H)×418.0 (D) mm | 本体：168.0 (W)×456.0 (H)×450.0 (D) mm タブレット：535.0 (W)×60.0 (H)×418.0 (D) mm |
| 質量 | 21.0kg | | 17.0kg |

■対応ファイル形式

| | |
|----------|--|
| デジタルビデオ | DV/DVCAM/HDV |
| キャプチャ | Canopus HQ (AVI) , HDV 1080i (MPEG2-TS) * |
| フォーマット | Canopus HQ (AVI) , DV |
| 入力ファイル形式 | MPEG2-TS (HDV 1080i) , Canopus HQ (AVI) , DV (AVI) , MPEG1 , MPEG2 , Windows Media Video , QuickTime , AVI (DirectShowベース) |
| 出力ファイル形式 | MPEG2-TS (HDV 1080i) , Canopus HQ (AVI) , DV (AVI) , MPEG1 , MPEG2 , Windows Media Video , QuickTime , AVI (DirectShowベース) |

※MRL-5000のHDVキャプチャはPC本体のIEEE1394 (OHCI)を使用

■MRL-5000 入出力部仕様

●Multi I/O Processor (MIP)

| | | |
|-------------|-----------|--|
| 映像入力 | HD-SDI | BNC×2 (HD-SDI IN + アクティブスルー、SMPTE 292M) |
| | SD-SDI | BNC×2 (SD-SDI IN + アクティブスルー、SMPTE 259M-C) |
| SDコンポーネント | | BNC (1系統:Y/Pb/Pr) |
| | Y/C | S端子×1 |
| コンボジット | | BNC×2 (CVBS IN×1, ループスルー ×1, 自動終端ON/OFF) |
| | | BNC×2 (SMPTE 292M) |
| 映像出力 | HD-SDI | BNC×2 (SMPTE 292M) |
| | SD-SDI | BNC×2 (SMPTE 259M-C) |
| HDコンポーネント | | BNC (1系統:Y/Pb/Pr) |
| | | D端子×1 (D1～D3まで対応) |
| SDコンポーネント | | BNC (1系統:Y/Pb/Pr) |
| | Y/C | S端子×1 |
| コンボジット | | BNC×2 (CVBS OUT + Monitor OUT) |
| | | エンベデッドオーディオ (SMPTE 299M) |
| 音声入力 | HD-SDI | エンベデッドオーディオ (SMPTE 299M) |
| | SD-SDI | エンベデッドオーディオ (SMPTE 272M-A) |
| AES/EBU | | BNC×4 (ch 1/2, ch 3/4, ch5/6, ch7/8) 32/44.1/48kHz, 16/20/24bit, Unlocked/Locked 内蔵 SRCにより常時 48kHz Locked へ変換 |
| | | バランスオーディオ XLR3ピン×4 (CH1～CH4, 終端抵抗: 600Ω) |
| 音声出力 | HD-SDI | エンベデッドオーディオ (SMPTE 299M, 20bit/48kHz, Locked) |
| | SD-SDI | エンベデッドオーディオ (SMPTE 272M-A) |
| AES/EBU | | BNC×4 (ch 1/2, ch 3/4, ch5/6, ch7/8) |
| | | バランスオーディオ XLR3ピン×4 (CH1～CH4) |
| アンバランスオーディオ | | ピンジャック (ステレオ1系統) |
| | | LTC入力 XLR×1 (0.5V～18Vp-p, 10kΩ) |
| タイムコード | LTC出力 | XLR×1 (2.0Vp-p, ローインピーダンス) |
| | DVITC入力 | HD-SDI/SD-SDI 入力から分離 |
| DVITC出力 | | HD-SDI/SD-SDI 出力に書量 |
| | | BNC×1 (3倍 SYNC) |
| リファレンス | HD REF入力* | BNC×1 (ループスルー or SG出力, 75Ω終端自動ON/OFF) |
| | SD REF入力* | BNC×1 (Black Burst) |
| シンク | SD REF出力* | BNC×1 (ループスルー or SG出力, 75Ω終端自動ON/OFF) |
| | | RS-422A (D-Sub 9ピン メス) ×2 |
| VTRコントロール | | ステレオ標準ジャック, ヘッドホリレベル調整用ボリューム, 入力レベル調整用ボリューム (CH1～CH4), オーディオレベルメータ (CH1～CH4, CH5～CH8 切り換え表示), オーディオモニタ出力セレクタボタン (8ch→2chにマッピング), オーディオモニタ出力マッピング状態インジケータ, 各種表示用LCD |
| | 電源 | DC15.6V (XLR4ピンコネクタ, またはDCジャック), ACアダプタ付属 |
| 仕様 | 消費電力 | 65W |
| | 動作温度範囲 | 10～35℃ |
| 外形寸法 | | 430.0 (W) × 132.0 (H) × 310.0 (D) mm |
| | | 19インチ3Uラックマウントサイズ |
| 質量 | | 8.0kg |

※SD REF入力のBlack Burst信号を利用してHD-SDIの信号をロックすることができます。

■MRL-2500 / MRL-2000 入出力部仕様

●インターフェースボード(メインボード)

| | |
|------------------------|---|
| デジタルビデオ (DV/DVCAM/HDV) | IEEE1394 4ピン×1 |
| 映像入力 | Y/C, コンボジット ミニDIN 7ピン×1 (ビデオを直接、付属のアナログビデオ端子交換ケーブルでピンジャックを接続可能) |
| 映像出力 | Y/C, コンボジット ミニDIN 7ピン×1 (ビデオを直接、付属のアナログビデオ端子交換ケーブルでピンジャックを接続可能) |
| 音声入力 | アンバランスオーディオ |
| 音声出力 | アンバランスオーディオ |

●インターフェースボード(拡張バージョンボード)

| | |
|------------------------|------------------------------|
| デジタルビデオ (DV/DVCAM/HDV) | IEEE1394 4ピン×1 (メインボードと排他利用) |
| 映像入力 | Y/C, コンボジット |
| 映像出力 | Y/C, コンボジット |
| 音声入力 | アンバランスオーディオ |
| 音声出力 | アンバランスオーディオ |

●フロントベイ

| | |
|------------------------|------------------------------|
| デジタルビデオ (DV/DVCAM/HDV) | IEEE1394 4ピン×1 (メインボードと排他利用) |
| 映像入力 | Y/C, コンボジット |
| 映像出力 | Y/C, コンボジット |
| 音声入力 | アンバランスオーディオ |
| 音声出力 | アンバランスオーディオ |

●本製品にビデオモニター、VTRデッキは含まれません。●予告なく仕様または外観の一部を変更することがあります。●カノプス製品の名称はカノプス株式会社の商標または登録商標です。●HDVはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。●Intel, PentiumはIntel Corporationの登録商標です。●QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。●QuickTimeは、米国およびその他の国々で登録された商標です。●その他の商品名は各社の商標または登録商標です。●素材提供: GLAY'Z



本製品を利用して他人の著作物の録音・録画をする場合、特定の場を除き著作権者から許諾を得る必要があります。また、本製品を利用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては、当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

canopus カノプス株式会社

●取扱代理店

●本社 / 〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2 ●東京本部 / 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-12-8

最新の製品情報はホームページで <http://www.canopus.co.jp/>

■製品に関するご質問はカノプス東日本営業部までお気軽にお問い合わせください
■MRL-HDシリーズのデモンストレーションをご覧いただけます (事前にご予約をおねがいします)

東日本営業部 TEL.03-3516-2538 月～金曜: 10:00～12:00, 13:00～17:00 (祝祭日、当社指定休日を除く)

※お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめください。

●表示価格には消費税は含まれておりません。●このカタログは2007年4月10日現在のものです。